

# 赤十字かごしま

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

発行所  
日本赤十字社鹿児島県支部  
鹿児島市鴨池新町1番5号  
電話 099-252-0600

第184号 平成22年4月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

## 赤十字の活動資金にご協力ください!!

### 県民のみなさまへのお願い

日頃から赤十字活動にあたたかいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。近年国内外において地震や台風など自然災害が頻発しております。私どもは、苦しんでいる人を救いたい、人のいのちと健康を守りたいという人道の理念のもと、これらの被災者への災害救護活動や救援物資の配布をはじめ、救急法等各種講習の実施、次代を担う青少年の育成など、地域に根ざした各種赤十字活動を展開しています。このような活動は、県民のみなさまから善意でお寄せいただきました社資により支えられています。



赤十字の活動資金にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

**+** 日本赤十字社鹿児島県支部  
支部長 伊藤 祐一郎

### 5月は赤十字運動月間です!

5月1日は日本赤十字社の創立記念日です。また、5月8日は赤十字の父アンリー・デュナンの生誕日（世界赤十字デー）です。

日本赤十字社では、これにちなんで5月を「赤十字運動月間」として定め、社員及び社資（社費・寄付金）の拡大・増強をはかることとしています。

社会経済環境は、依然として厳しい状況が続いていますが、国際救援や災害救護などの赤十字の活動に引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



社員4年目 藤原 紀香

命を救う、力を合わせよう。

赤十字の活動を資金で支える  
「社員」にご加入ください。

愛の手を世界に広げる赤十字

# あなたの社費(会費)・寄付金は、 このような活動に役立てられています。

万が一の災害に備えて

## 災害救護活動

- ◎赤十字病院を中心とする医師・看護師等で構成される医療救護班(8班)を常備し、被災地に派遣します。
- ◎災害救援物資を速やかに配布できるよう、支部及び県下各地の37常備地区(市町村社会福祉協議会等)に毛布5,000枚、ブルーシート4,000枚等を備蓄しています。



▲災害に備えた救護訓練(鹿児島市)

▲倉庫に備蓄された救援物資



緊急セット 見舞品セット

国際赤十字ネットワークを活かして

## 国際活動

- ◎世界186カ国の国際赤十字の一員として、災害や紛争で被害を受けた人々の緊急支援や、保健衛生事業等の国際開発協力援助を行っています。



◀ ▲海外における医療救護(ハイチ)

人の痛みにやさしく寄り添う  
看護を目指して

## 看護師養成

- ◎福岡県の日本赤十字九州国際看護大学では、赤十字の理念を基調とし、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師を養成しています。



▲実習中の看護学生(日本赤十字九州国際看護大学)

## 赤十字活動を支える大きな力

### 赤十字奉仕団活動

◎各市町村で組織している地域赤十字奉仕団や専門知識、技術を持つ特殊赤十字奉仕団など79団29,000人が、広域的なネットワークを活かし、災害時の炊き出しや応急手当などのボランティア活動を行っています。



▲地域赤十字奉仕団による非常炊き出し訓練（曾於市末吉分区）

▼フィールドワークで暗闇を体験する児童（県立霧島自然ふれあいセンター）



▲海外たすけあい募金活動（薩摩川内市）

### 次代を担う子どもに 思いやりの心を

### 青少年赤十字活動

- ◎幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校あわせて約440の加盟校では、児童・生徒が「気づき・考え・実行する」を態度目標として、地域でのボランティア活動を実践しながら人を思いやるやさしい心を育てています。
- ◎海外の青少年赤十字メンバーとの交流を通じ、広く国際理解、親善を深めています。
- ◎世界の開発途上国の子どもたちを支援するなどのため、1円玉募金や海外たすけあい募金活動を行っています。

▼水の事故の救助について学ぶ（磯海岸）



▲心肺蘇生法を学ぶ（吹上浜砂の祭典）

### とっさの手当が命を救う

### 救急法等の講習会

◎「救急法」をはじめ、「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」の講習会を開催し、年間受講者は16,000人以上になっています。

いのちを守る赤十字！（救急法、水上安全法等の講習）

# 鹿児島島の赤十字施設の紹介

## 鹿児島県赤十字血液センター



皆様の献血で大切な命が救われています

2009年鹿児島県では70,380人の方に献血にご協力いただきました。皆様の善意による献血でたくさんの命を救うことができました。本当にありがとうございました。

人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできませんので、輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず皆様の献血が必要となります。これからも輸血を必要とされている患者さんのため、皆様の継続的な献血へのご協力をお願いします。



### 献血施設

#### 献血プラザかもいけクロス

〒890-0064  
鹿児島市鴨池新町1番5号  
TEL 099-257-3141

受付時間 AM9:00～12:00 (成分献血11:30)  
PM1:00～5:00 (成分献血4:30)

受付日 月曜日～土曜日(日・祝日休み)

駐車場 大駐車場有



#### 献血ルーム天文館

〒892-0842  
鹿児島市東千石町13-16  
天文館ビル2階  
TEL 099-222-6511

受付時間 AM9:30～13:00 (成分献血12:00)  
PM2:00～5:30 (成分献血5:00)

受付日 毎日(12月31日・1月1日を除く)

駐車場 中央公園地下セラ602(駐車券配布)  
リバティ立体駐車場(駐車券配布)



### 特別養護老人ホーム錦江園

〒891-0133  
鹿児島市平川町2530番地の1 TEL 099-261-2789

錦江園は、鹿児島島のシンボル「桜島」を眼前に望み、波静かな「錦江湾」に抱かれた自然豊かな鹿児島市南部の平川町、JR指宿枕崎線、国道226号線沿いの錦江湾の岬に位置しております。

錦江園は、三方を海、周りは緑の木立に囲まれ、身近に小鳥のさえずりの聞こえる静かな環境にあります。



その地に、昭和49年6月、日本赤十字社としては最初の特別養護老人ホーム錦江園が開設され、現在は特別養護老人ホーム70床、短期入所生活介護(ショートステイ)2床の定員で運営しています。

利用者の皆様方に満足していただける施設をめざし、職員の資質向上に努めるとともに、地域に愛され開かれた施設としてボランティアや実習生等の受け入れ、園内行事への地域の方々や家族等の参加など地域の方々との交流を深めています。

また、開設以来35年が経過した現在の施設を、建て直すべく取り組んでいます。



鹿児島赤十字病院（以下：当院）では「人道・博愛の赤十字精神に基づき心のこもった医療を提供する」ことを理念とし、患者様に安心して療養いただくために、医師・看護師はじめ全職員が協力し支援体制を整えています。当院はリウマチ科、整形外科、脳神経外科、内科等があり、県内ではリウマチ膠原病の専門病院としての機能をもっています。MRI（Magnetic Resonance Imaging；磁気共鳴画像）などの検査機器もあり、急性期医療やリウマチ膠原病などの診断や治療に役立っています。



**【外来リウマチ教室のご案内】**

はじめにリウマチ治療の考え方として「薬物」・「手術」・「基礎療法」・「リハビリテーション」の4本柱があります。関節リウマチをお薬で治療していても、体を動かしていなければ関節は固まり機能障害に陥ってしまいます。そのため日常生活での「基礎療法」が大変重要になります。外来看護師の役割は、患者様の自己管理（セルフケア）を支援し、在宅療養を可能にすることです。

以前は、入院中にリウマチ症状のコントロールとリウマチ教育を行っていましたが、しかし、在院日数の短縮により、外来で薬によるコントロールを行うことが多くなりました。

特に外来では、多くの患者様を効率的にできるだけお待たせしないで帰宅できるようにしなければなりません。そこで、患者様に短時間で分かりやすくリウマチのこと（病気の特徴・治療法・日常生活での注意事項・利用できる福祉制度など）がご理解していただけるよう、外来看護師で「基礎療法」のDVDを作成し、平成21年10月下旬よりDVDを使用したリウマチ教室を始めました。外来ロビーで週に1回30分程度開催しています。



患者様からご意見やご質問をお寄せいただくようにし、お問い合わせいただいた内容については掲示板にて後日回答させていただいています。同じ不安や悩みを抱える患者様への情報提供と不安の改善、日常生活での注意事項としてお役立ていただけるようにしています。

今後は、患者様からいただいたご意見をもとに、教室の内容も「基礎療法」だけでなくどんどん増やしていく予定です。

興味のある方は是非ご参加下さい。お待ちしております。

開催月	曜日	開催時間
奇数月	月曜日	10:00～・14:00～
偶数月	木曜日	



**患者様に寄り添いながら…**

**鹿児島赤十字病院 リハビリテーション科部**



鹿児島赤十字病院（以下：当院）のリハビリテーション科部は理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、助手1名の計13名のスタッフでリウマチ科、整形外科、脳神経外科の患者様を中心にリハビリテーションを行っています。リハビリテーション棟は開放感があって外に目をやると海や山々の緑が広がっており「癒しの空間」となっています。当院で行っているリハビリテーションについて紹介します。

- ① 理学療法：筋力の強化や関節の運動を行いながら座る・立つ・歩くなど移動を含めた基本動作練習を中心に行います。
- ② 作業療法：日常生活動作を行う上で関わりの強い手や腕の機能回復練習や、箸を使った細かい動作・物を握る動作などの応用動作練習を中心に行います。
- ③ 言語聴覚療法：脳卒中により話すことや食事の際に飲み込むことが難しくなった患者様に対して言葉の練習や食べ物を飲み込む練習などを中心に行います。

当院には主に急性期の状態にある患者様や手術を目的とした患者様が多く入院されています。入院早期よりリハビリテーションを実施していますが、入院期間が限られていることもあり当院退院後にご自宅で生活するにはもう少しリハビリテーションが必要と判断される場合には、他の病院へ転院していただいてリハビリテーションを継続していただくこともあります。

私たちリハビリテーション科部の職員は可能な限り早期自宅退院を目指し、医師・看護師・ソーシャルワーカーなどと連携し、患者様と一緒に日々頑張っています。

# 赤十字を支える赤十字社員

赤十字が、その活動をすすめるうえで必要となる活動資金は、赤十字に賛同する皆様からの社費(会費)と寄付金によって支えられています。

赤十字の財源を支える「社費」を提供いただける方を「社員」といいます。

☆社員には社費を納めていただくこと  
によって、どなたでも加入できます。  
(年額500円以上)



☆個人、法人を問わず、  
いつでも社員になれます。

◎日本赤十字社鹿児島県支部においては、県内各市町村の日赤窓口(社会福祉協議会等)を通じて、町内会・自治会等のご協力のもと赤十字の社員募集を行っております。

## 赤十字の活動は県民のみなさまによって支えられています。

～赤十字の活動資金にご協力いただいた方には、次の制度があります～

### 表彰制度

ご協力いただいた方々(個人・法人)に感謝の気持ちを込めて有功章や感謝状などをお贈りいたします。

#### 【表彰の一例】



銀色有功章  
(個人・法人橋式)



金色有功章  
(法人橋式)



金色有功章(個人勲章式)  
左・男子 右・女子

### 日本赤十字社の表彰制度

銀色有功章……20万円以上

金色有功章……50万円以上

日赤赤十字社  
社長感謝状……50万円以上  
(金色有功章受章後さらに)

### 国の表彰制度

厚生労働大臣  
感謝状……個人-100万円以上  
法人-300万円以上

紺綬褒章……個人-500万円以上  
法人-1,000万円以上

## ご自身や故人の思いを赤十字へ……各種寄付金を申し受けます

近年、大切な方を亡くされた方々から「故人の遺産を社会のために寄付したい」、「自分で築いた財産を相続させた後の余剰財産を寄付したい」、「香典返しとして赤十字に寄付したい」という尊いお申し出が増えていきます。

また、遺言により自分の財産を人々に分ける遺贈も最近増えつつありますが、遺言書の内容により、遺産の受取人やその内容を指定することができます。

この遺言による方法で、財産の一部の受取人として日本赤十字社鹿児島県支部を指定いただくこともできます。

※遺贈を検討するにあたっては、弁護士や税理士などの専門家にご相談されることをお勧めします。

遺贈によるご寄付には、所得税や法人税にかかる優遇措置が適用されます。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

### お問い合わせは

日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課

☎099-252-0600

ホームページ <http://www.minc.ne.jp/nisseki/>

代表メール [shibu-rc@po.minc.ne.jp](mailto:shibu-rc@po.minc.ne.jp)